

令和元年度 第 2 回細谷小学校学校運営協議会 議事録

進行：会長

1 開会

2 あいさつ 細谷小学校 校長

- ・第 2 回細谷小学校学校運営協議会お世話になります。子ども達のための協議をよろしくお願いします。

細谷小学校 PTA 会長

- ・運動会が来賓の皆様のおかげで無事終了しました。ありがとうございました。
- ・登校中の児童が殺傷される川崎の事件を受け、児童の登下校中の安全について再確認していきたい。本校では、安全ボランティアの方々にお世話になっている。今後ともよろしくお願いします。

3 協議

(1) 細谷小学校の近況報告（4～6月）（パワーポイント映像にて）

4月・始業式・入学式・1年生を迎える会

本校ならではの一人一人児童が活躍する行事である。

- ・お花見集会、イチゴ狩りなど地域の方々の協力で行事できる行事である。

5月・運動会

- ・少人数であるが、「みんなで協力し、最後まで一生懸命頑張ろう！」のスローガンのもと、児童の頑張りや成長がみられた。

6月・4、5、6年校外学習の実施、

- ・2年生活科「野菜の苗植え」や全校生での「サツマイモの苗植え」

- ・自由参観

- ・プール清掃

- ・交通安全教室

- ・奉仕作業：多くの保護者の方のご協力で校庭の除草、プール清掃を実施。

(2) 登下校の安全対策推進について

石橋中学校区安全対策推進会議 6/21（金）または 7/5（金）

（下野警察署主催）

- ※学校運営協議会の方々も参加の協力をお願いしたい。

場所 石橋北小 午後5：00より

- ※細谷小学校の登下校の安全について

スクールガードの皆様にご協力いただいている。これまで以上に地域の皆様のサポートが必要になってくる。児童の防犯意識を高めたい。

- ※地域としての対策は？

- ・見守りボランティアの方が、登下校の際、ベストを着用して見守っていただいているので、継続をお願いしたい。不審者らしき人物をみたら、警察や学校に連絡を！
- ・農作業中の「ながら見守り」もよいのではないかな。
- ・学校東側道路の整備に伴い、スピードを出す車の増加があるのではないかな。
- ・暗がりに防犯灯の設置を自治会で希望していく。
- ・通学路には歩道ができるのだろうか。県道からの迂回路として交通量の増加が心配である。橋本の十字路では、一時停止しない車が見られる。壬生方面からの車のスピードが出ている。
- ・道路に出ている植栽は伐採を進めていくよう自治会での集まりで働きかけをしたい。
- ・道路の安全対策、道路と歩道間に縁石ができるとありがたい。
- ・下水道工事の埋め戻しで、道路にゆがみができていると事故につながる可能性がある。道路状況にも気をつけて見ていき、必要ならば関係機関に連絡した

い。

- ・信号機があればよいが、設置が難しい場合、ポールを立てることにより視覚的に事故防止を図っている交差点がある。
- ・横断歩道が新規にできた箇所がある。上台の防犯灯も新しくなっている。要望が生かされている。

(3) 小規模特認校としての充実を目指して

①小規模特認校について（下野市および細谷小学校の現状）

- ・3年生に転入があり、児童数は現在53名になった。小規模特認校についての理解を深めてもらうよう幼稚園等で広報に努めていく。本校の良さを伝えていく。

※小規模校の利点を生かして、

- ・一人一人の個別の学習指導を通しての学力向上を図る。
- ・地域の協力での豊かな自然体験活動を実施する。
- ・全校遠足など本校ならではの学校行事を実施する。
- ・外国語活動に力を入れる。ALTの先生と「児童が考える英語」に取り組む。

※課題

- ・保護者の要望で月曜日の放課後6時間目、1～3年生を上級生の下校時刻まで児童を残している。その時間の児童の見守りをどうするか考えている。現在、外部の方々の協力をお願いしている。更生保護女性会の方々や前職員のボランティアの協力をいただいている。他に協力していただける方を募集している。
- ・地域の教育資源の活用として、公民館活動（工作）をされている方、読み聞かせボランティア、生涯学習センターのボランティア登録者などほか。
- ・英語のビデオをみせる、子どもの関心に合わせて自由な活動の時間にする、などの方策を考えていく。

②学校運営協議会の考える、細谷小学校の今後について

- ・児童数は増加の傾向である。学区外の希望者が増えている。中途転入者にとって通いやすい学校なのでは。
- ・学校があるからこそ地域のつながりも生まれる。明るい未来、地域の活性化につながる。
- ・魅力ある学校、選ばれる学校。本校で居場所を見つけられる子もいる。
- ・地元にある学校があるのは本来の姿。地域で子ども達を育てる意識を持ちたい。
- ・学校の魅力（力を入れていくところ）を発信していく。
- ・不登校の解消。自尊感情の低い子もいる。様々な事情を抱えている子も学び直し、立ち直りができる学校。
- ・個に応じた学習指導ができる。個に応じた学力向上をめざしていく。
- ・プラスワンは何かを見付ける模索を続けていく。
- ・下級生を上級生が面倒をみる活動も効果がある。任せることで成長する面もある。
- ・運動会で上級生が下級生に自然に指示している姿がみられた。普段の縦割り活動の成果なのではないだろうか。家族のようなつながりができている。
- ・他校で行われた演劇鑑賞会では、集中して観劇する姿が見られた。忍耐力、集中力もたくましさにつながる。
- ・たくましさを育てるには、人のために頑張ろうという気持ちも大切。

(4) その他

- ・老人会では今年も昔遊びの活動に協力していただける。
- ・地域とともにある学校、地域に協力していただける方々を見つけて、学校を支えていく。
- ・思考力を高めるために、母国語（日本語）の力を付けたい。英語も大切であるが日本人として日本語で思考する力を養いたい。
- ・発表力、表現力は社会にでも必要な力。そうした力を付けられることも本校の魅力につながっていくのではないだろうか。